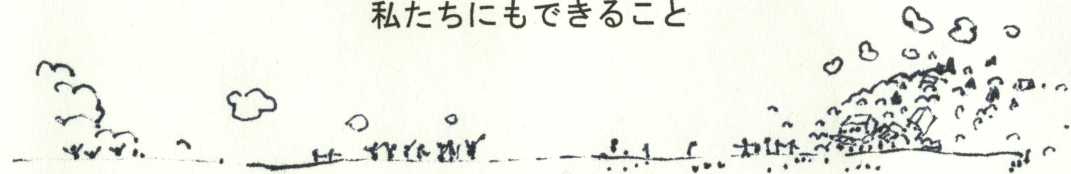




多摩辺

学校だより
昭島市立多摩辺中学校
校長 相部公太郎
令和元年8月30日

私たちにもできること



この夏休み、多くの平和を願うテレビ番組が企画されていました。それらの番組を観て、日常生活の大切さや命の尊さについて考えた人もいたことでしょう。そこで、先生が印象に残っている広島原爆の日「平和祈念式典」で2人の小学生が世界に伝えた「戦争をおこさない未来」への思いを紹介します。

『昭和20年(1945年)8月6日。あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡骸、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。大好きな町の「悲惨な過去」です。被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。

私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。「悲惨な過去」を「悲愴な過去」のままに終わらせないために。二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。意志をもって学び続けます。被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。』これが、二人の小学生が宣言した内容です。

さあ、今日からいよいよ二学期が始まりました。

二学期は、日々の学習に加えて、校外学習、生徒会役員選挙、合唱コンクール、進路の取り組み、職場体験など様々なハードルが皆さんを待ち構えています。そして、これらのハードルを一つ一つ越えていくことは、皆さんの成長へとつながっていきます。その基盤となるのは、私たちにもできること、「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力することです。学級・学年・学校の平和を築き、様々なハードルを越えていってください。 【始業式講話より抜粋】

保護者・地域の皆様へ

まだまだ残暑きびしい毎日が続いていますが、朝夕はしのぎやすくなってきました。先だって、39日ぶりの全校生徒との再会を楽しみに始業式を迎えました。体育館に集った生徒たちの表情を見渡すと、何となく、ひとまわりたくましくなったような雰囲気が広がっていました。また、本校の生徒は、大きなトラブル・事故に遭うことなく無事に夏休みを過ごすことができました。これも、夏休みの期間、地域で子供たちを見守っていただくなど、保護者・地域の方のお力があってのことです。ありがとうございました。二学期も、「チーム多摩辺」で子供たちの成長に向けて取り組んでまいります。本校の教育へのご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

<9月の主な行事等>

2日(月)	全校朝礼、安全指導
3日(火)	部長会
9日(月)	学年朝礼
11日(水)	専門・中央委員会
12日(木)	校外学習<2年> 復習確認テスト<3年>
14日(土)	未来をひらく発表会 13:00~ 市役所
16日(月)	敬老の日
17日(火)	生徒会朝礼 II期時間割(始)
23日(月)	秋分の日
24日(火)	生徒会役員選挙
30日(月)	中間考査1日目

夏休みの活躍

多摩地区中学校テニス大会 女子団体第三位 テニス部
昭島市民バスケットボール大会
中学生男子の部 第三位 男子バスケットボール部
中学生女子の部 優勝 女子バスケットボール部
東京都中学校吹奏楽コンクール 銅賞 吹奏楽部

【お知らせ】

新井愛理教諭は、8月下旬より産休に入りましたので、近藤寿美子教諭が、産休代替として3年生の国語、3年副担任を担当いたします。